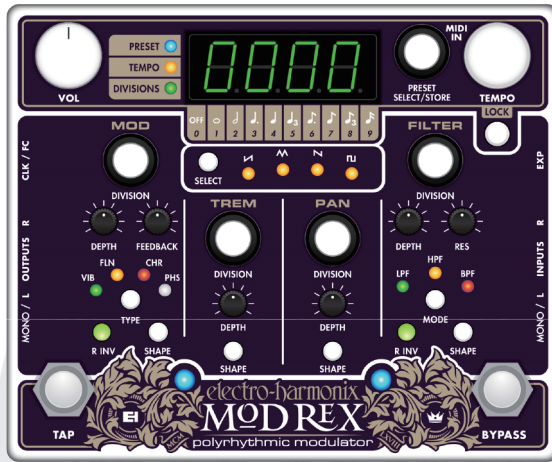


electro-harmonix

MOD REX

Polyrhythmic Modulator



この度はElectro-Harmonix Mod Rex Polyrhythmic Modulatorをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Mod Rexは、様々な楽器に向けて設計された強力なモジュレーション・ツールであり、下記のような多くの特徴を備えています。

- ・最大4つのモジュレーション・セクションを同時に使用可能
- ・MODセクションは、ピブラート/フランジャー/コーラス/フェイザーから選択可能
- ・MODセクションの他に、トレモロ/パン・モジュレーション/フィルター・モジュレーションのセクションを搭載
- ・それぞれのセクションに、9つのサブディビジョンからテンポを設定可能
- ・それぞれのモジュレーション・セクションは4種類のLFO波形から選択可能
- ・100種類のプリセットを保存可能
- ・フルステレオ入力/出力を搭載
- ・タップ・テンポ機能を搭載
- ・MIDIクロックまたはパルス信号による、外部機器とのテンポ同期
- ・全パラメーターの操作やプリセットの呼び出しをMIDIで制御可能
- ・外部のエクスペッション・ペダルによる入力
- ・外部のフット・コントローラーによるプリセットの選択
- ・9.6V 200mA DCアダプターを同梱

注意：MOD REXにはElectro-Harmonix 9.6DC-200mAアダプターが付属します。Mod Rexの消費電流は9VDCセンターマイナス/100mAです。間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。10.5VDC以上の電圧は入力しないでください。

- 目次 -

Mod Rexとは	3
コントロール・ダイアグラム	4
トップパネル	5
DIVISION ディスプレイモード	5
TEMPO ディスプレイモード	6
PRESET ディスプレイモード	6
モジュレーションのパラメーターについて	7
DIVISION	7
TEMPO/RATEノブ モード	7
LFOシェイプ	7
MODセクション・パラメーター	8
TREMセクション・パラメーター	8
PANセクション・パラメーター	9
FILTERセクション・パラメーター	9
ボリューム	9
セクションの接続順	9
プリセット	10
プリセットのロード	10
プリセットのセーブ	10
ブランクプリセット	11
LOCKボタン	11
ファクトリーリセット	12
フットスイッチとジャック	13
BYPASS	13
TAP	13
電源	13
インプットとアウトプット	13
エクスプレッション・ペダル	14
外部クロックとフットコントローラー	14
MIDI	15
MIDIによるテンポの同期	15
MIDIプログラム・チェンジ/コントロール・チェンジ メッセージ	15
MIDI CCメッセージ アサインチャート	16
ファクトリープリセット パラメーターリスト	16

概要：Mod Rexとは？

Mod Rexは、数多くのモジュレーション機能を備えた強力なモジュレーション・ユニットです。Mod Rexの心臓部は4つのモジュレーション・セクションです。

MOD: ピブラート/フランジャー/コーラス/フェイザーから選択可能なモジュレーション・エフェクト

TREM: トレモロ

PAN: パンニング・エフェクト

FILTER: ローパス/ハイパス/バンドパスから選択可能なフィルター・モジュレーション

これらのセクションは個別に使用することも、組み合わせて同時に使用することも可能です。また、全てのセクションはテンポ(BPM表示)が同期していますが、セクションごとにサブディビジョンを個別に設定が可能です。それぞれのセクションは、サウンドを微調整するための様々なパラメーターを備えているほか、モジュレーションのLFOシェイプは内蔵している4つのオプション(Rising-sawtooth / Triangle / Falling-sawtooth / Square)から選択できます。

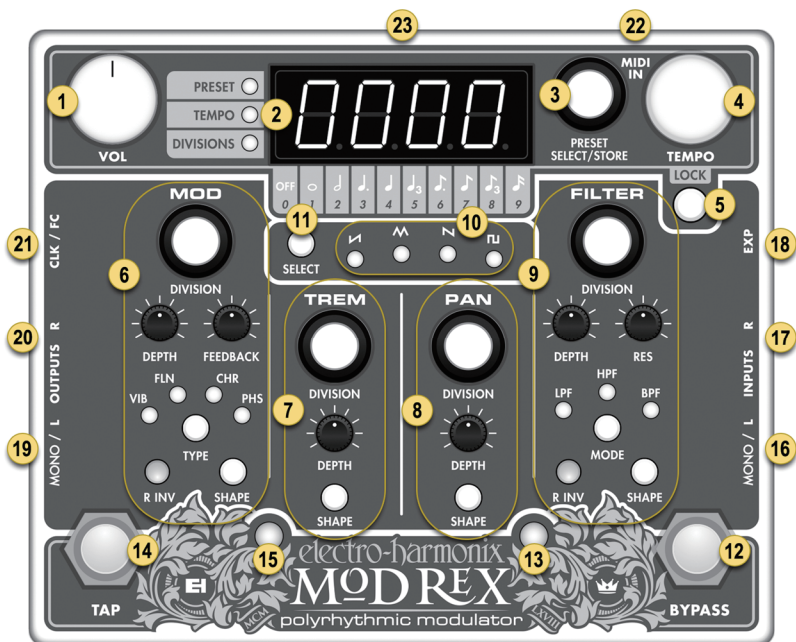
ピブラートを、同時に設定したトレモロの2倍のレートに正確に設定できます。フェイザーを全音符に設定し、トレモロを4分音符に設定し、ローパスのフィルター・モジュレーションを8分音符に設定することも可能です。トレモロ・エフェクトを4分音符に設定し、フィルター・モジュレーションを付点4分音符に設定することで、ポリリズムのエフェクトを作ることができます。Mod Rexには無限に近い可能性があり、例を挙げ始めるときがありません。

このような複雑なリズムを組み合わせた効果を加えることで、現代的なオプションと併せてより伝統的なモジュレーション・エフェクトとしてMod Rexを使用できます。Falling-sawtoothを使用して強力なフランジャーを設定したり、ステレオ・フェイザーでタップ・テンポを使用することもできます。MIDIを使用して外部トラックと同期し、rising-sawtoothのトレモロ・エフェクトを使用することで、サイド・チェーンの効果を得ることもできます。

左下のLEDは常に4分音符の間隔で点滅しています。テンポはTEMPOノブで調整するほか、タップ・テンポによる入力やMIDIクロックやパルス信号を使用して外部機器と同期させることも可能です。

Mod Rexは、接続したあらゆる楽器に正確でリズムカルなエフェクトを加え、最大限の能力を引き出すために設計されました。タップ・テンポはタップ中も演奏を止めたり、テンポをリセットすることなく全てのセクション(様々なサブディビジョンを内蔵している)のテンポをスムーズに設定できます。ラップトップからドラム・マシンやシーケンサー、オーディオ・インターフェースとMod Rexを接続し、MIDIクロックでテンポを同期することで外部機器と完全に同期したリズムカルなエフェクトを得ることができます。

Mod Rexは、様々なエフェクトを使用し生み出すサウンドの創造性を最大限に活かすため、最大100プリセットを保存して呼び出すことが可能です。フルステレオの入力/出力も備えています。外部のエクスペッション・ペダルやフット・コントローラーを接続することも可能です。Mod Rexの全てをMIDIで制御でき、また近年の様々なMIDIセットアップとシームレスに統合することができます。これらの機能を備えたMod Rexは究極のリズムカル・モジュレーション・マシンだと言えるでしょう。



1. VOL: マスター・ボリュームの調整(9ページ)
2. ディスプレイおよびディスプレイの状態を示すLED(5ページ)
3. PRESET SELECT/STORE: プリセットのセーブおよびロード(10ページ)
4. TEMPO: ノブによるマスター・テンポの設定(7ページ)
5. LOCK: プリセット ロード時に現在のテンポを維持(11ページ)
6. MOD Section: 4つのモジュレーションを備えたセクション(8ページ)
7. TREM Section: トレモロを操作するセクション(8ページ)
8. PAN Section: パン・モジュレーションを操作するセクション(9ページ)
9. FILTER Section: フィルター・モジュレーションを操作するセクション(9ページ)
10. LFOシェイプLED: 4つのLFO波形のうちどれが選択されているかを表示(7ページ)
11. LEFシェイプSELECTボタン: 各セクションのLED波形を変更するボタン(7ページ)
12. BYPASS: エフェクト・モードとバッファード・バイパス・モードの切替(13ページ)
13. ステータスLED エフェクトがONになっているか、バイパス・モードになっているかを表示(13ページ)
14. TAP: 4分音符単位でタップすることでマスター・テンポを変更(13ページ)
15. レートLED: 現在のマスター・テンポの速度を表示(13ページ)
16. MONO/L INPUT: モノラル入力、もしくはステレオ時の左側入力(13ページ)
17. R INPUT: ステレオ時の右側入力(13ページ)
18. EXP: エクスプレッション・ペダルの入力(14ページ)
19. MONO/L INPUT: モノラル出力、もしくはステレオ時の左側出力(13ページ)
20. R OUTPUT: ステレオ時の右側出力(13ページ)
21. CLK/FC: 外部機器のパルス信号およびフット・コントローラの入力(14ページ)
22. MIDI IN: MIDI信号の入力(15ページ)
23. 電源ジャック センターマイナスの9V DCアダプターによる入力(13ページ)

トップパネル・ディスプレイ

Mod Rexのユーザー・インターフェースの中央上部には、4桁の数字を示すディスプレイがあります。このディスプレイには3つのメイン・モードがあり、それぞれのモードで異なる情報を表示します。3つのモードとは、DIVISIONS、TEMPO、そしてPRESETです。ディスプレイ左側のLEDが現在どのモードになっているか示します。モードの切り替えはスムーズかつ直感的に行うことができます。

Note: 全てのLEDが点灯し、どのモードとも異なる情報がディスプレイに表示される場合もあります。この状態については後述します。

DIVISIONS ディスプレイモード

DIVISIONSモードでは、4つの桁がそれぞれのモジュレーション・セクションの現在のテンポ設定を示します。左から順番に、MOD、TREM、PAN、FILTERを示します。DIVISIONSモードへの切替は、4つのDIVISIONノブのいずれかを回すか、押すことで可能です。それぞれの桁には、以下の10種類の値を設定することができます。

0=モジュレーションを使用しない

1=全音符

2=2分音符

3=付点4分音符

4=4分音符

5=4分音符の3連符

6=付点8分音符

7=8分音符

8=8分音符の3連符

9=16分音符

下記の例を考えてみましょう:



この例では、MODセクションは全音符、TREMセクションは4分音符、PANセクションはOFF、FILTERセクションは8分音符の3連符に設定されています。

これらの設定は、各セクションのDIVISIONノブを回すことで変更できます。数値を変更すると、その桁が点滅します。テンポを変更したい際は、設定したい番号を点滅させてからDIVISIONノブを押してください。すると点滅が止まり、テンポの設定が完了します。

TEMPO ディスプレイ・モード

TEMPO ディスプレイモードでは、現在のテンポをBPMで表示します。TEMPOモードに切り替えるには、TEMPOノブを回す、もしくは押してください。テンポはTEMPOノブを回して設定するほか、タップ・テンポや外部機器を用いて設定することも可能です。このような場合、ディスプレイには小数点以下を切り捨てた最も近いBPMが表示されますが、外部機器からのクロックが小数成分を含んでいたとしてもモジュレーションは完璧に同期します。Mod Rexは10BPM～500BPMまで対応しています。

Note: MIDIクロックとテンポを同期する際、Mod Rexに表示されるBPMが僅かにずれたり、2つの数値を行ったり来たりすることがあります。このような場合であっても、Mod Rexは問題なく外部機器と同期しています。

PRESET ディスプレイモード

PRESET ディスプレイモードでは、1～100のプリセットの中から現在選択しているプリセットナンバーを表示します。PRESETモードへ切り替えるには、ディスプレイ右側にあるPRESET SELECT/STOREノブを回す、もしくは押します。

DIVISIONS ディスプレイモードでの操作と同様に、PRESET SELECT/STOREノブを回すとディスプレイが点滅します。呼び出したいプリセットを表示したら、PRESET SELECT/STOREノブを押すとプリセットをロードします。

PRESET ディスプレイモードでは、一番左の桁にダッシュが表示される場合があります。これは現在選択されている番号にはまだプリセットが保存されていないことを示します。

また、PRESET ディスプレイモードでは、一番右のドットが点灯する場合があります。これは、表示中のプリセットをロードした後に何らかのパラメーターが変更され、その後上書き保存されていないことを示します。

プリセットのロードとセーブに関する詳細は、10ページのプリセットに関する項目をご覧ください。

モジュレーションのパラメーターについて

4つのモジュレーション・セクションは、各セクションごとに搭載されたパラメーターの設定が行えます。テンポ設定は4つのセクション全てに影響します。4つのセクションはディスプレイ下にあるLFOシェイプ表示用のLEDを共有していますが、各セクションごとにそれぞれ異なるLFOシェイプを設定できます。

DIVISIONS

それぞれのモジュレーション・セクションには、テンポのディビジョン設定したり、セクション自体のON/OFFを設定したりするためのDIVISIONノブが付いています。これらの機能についてはP.5 DIVISIONS ディスプレイモードに関する項目をご参照ください。

TEMPO/RATEノブモード

マスター・テンポはTEMPOノブを回して設定します。タップ・テンポや外部機器でマスター・テンポを設定することも可能です。これらの機能は、正確なリズムに基づいたエフェクトをかける際に有効です。もしMod Rexをより伝統的なモジュレーション・ペダルのように使用したい場合(正確にBPMを合わせる必要がない場合)には、TEMPOノブをRATEノブモードに切り替えることも可能です。RATEノブモードでは、ノブを回すことでより素早くテンポを変更できます。厳密にテンポを設定するのには向いていませんが、伝統的なモジュレーション・エフェクターのような感覚で使用できます。

RATEノブモードに変更するには、ディスプレイ左側の黄色いTEMPOのLEDが点滅するまでTEMPOノブを長押しします。TEMPOノブから指を話すとRATEノブモードに切り替わります。もう一度LEDが点灯するまでTEMPOノブを長押しすると、TEMPOモードに戻ります。

LFOシェイプ

4つのモジュレーション・セクションは、ディスプレイ下部のLFOシェイプLEDを共有しています。各セクションで現在選択されているLFO波形を確認するには、各セクションのSHAPEボタンを長押しします。すると4つの黄色いLEDのいずれかが点灯します。LFO波形を変更するには、そのセクションのSHAPEボタンを押しながら、LEDの隣にあるSELECTボタンを切り替えます。LFO波形は以下の4通りです。

RISING SAWTOOTH

この波形では、選択しているセクションのテンポに従って、最小ポイントから最大ポイントまで少しずつ上昇して、すぐに最小ポイントに戻る動作を繰り返します。この設定はサイド・チェインやリバース・エフェクトのような効果を得たい際に有効です。

TRIANGLE

これは最も伝統的なLFO波形です。この設定では、最小ポイントと最大ポイントの間を滑らかに上昇/下降する動作を繰り返します。

FALLING SAWTOOTH

この波形はRISING SAWTOOTHの逆パターンです。最大点から最小点まで少しずつ下降し、すぐに最大点に戻る動作を繰り返します。この設定はシャープでリズムカルなエフェクトを作りたい際に有用です。

SQUARE

この波形では、スムーズに移動することなく、最大点と最小点の間をすぐに切り替える動作を繰り返します。この設定はブツブツと切り替わるエフェクトを作りたい際に有用です。

MODセクション・パラメーター

MODセクションは、4つのモジュレーション・エフェクトからTYPEボタンで選択したエフェクトタイプのパラメーターをコントロールします。モジュレーション・エフェクトは下記の4タイプです。

ビブラート：ピッチを変動させるエフェクト

フランジャー：豊かで、レゾナンスを変化させるエフェクト

コーラス：みずみずしく、さえするようなダブリング・エフェクト

フェイザー：フェイズシフトを変調させるエフェクト

TYPEボタンを押すと、4つのMODセクション（VIB：ビブラート、FLN：フランジャー、CHR：コーラス、PHS：フェイザー）が切り替わります。

DEPTH：DEPTHノブはエフェクトの量を設定します。ビブラート・モードではピッチ・シフトの最大値を変更します。フランジャー・モードとコーラス・モードでは、エフェクトのデプス(深さ)を変更します。フェイザー・モードでは、LFO波形の大きさ（フェイズの変化量）を変更します。

FEEDBACK：FEEDBACKノブはフランジャー・モードとフェイザー・モードのみ使用します。FEEDBACKの値を上げると、エフェクトの共鳴音を目立たせます。

R INV：R INVボタンは、本製品をステレオで動作させる際に使います。ボタンを押すと、RチャンネルのLFOを反転します。これはモノラル・イン/ステレオ・アウトで使用する際、モノラル入力の信号にステレオ効果を付加させるのに非常に有効です。

TREMセクション・パラメーター

TREMセクションは、入力信号のボリュームを一定周期で変化させるトレモロ・エフェクトのパラメーターをコントロールします。

DEPTH：DEPTHノブは、トレモロ・エフェクトのデプス(深さ)を設定します。最大にすると、現在の音量と無音（ミュート）を間でボリュームが上下します。DEPTHの値を小さくすると音量の変化が小さくなり、微細な効果になります。

PANセクション

PANセクションでは、ステレオでの使用時にL/Rのアウトプットを行き来するパンニング・エフェクトを加えられます。モノラルでの使用時はTREMセクションと同じような効果になりますが、LFOシェイプはTREMセクションに対し反転します。

DEPTH : DEPTHノブは、L/Rへの振り分けの度合いをコントロールします。最大にすると、Lチャンネル100%とRチャンネル100%の間で出力が変動します。DEPTHの値を下げると、L/Rへの振り分けの度合いが徐々に狭くなり、音像が中央へ戻ります。

FILTERセクション

FILTERセクションには3つのモードがあります。

ローパス・フィルター (LPF) : カットオフ・ポイントより上の周波数をカットします

ハイパス・フィルター (HPF) : カットオフ・ポイントより下の周波数をカットします

バンドパス・フィルター (BPF) : モジュレーションのセンターの上下の周波数をカットします。

MODE : MODEボタンは3つのモードを切り替えます。

DEPTH : DEPTHノブは、カットオフ・モジュレーションの上のポイントを設定します。

RES : RESONANCEノブを上げていくとフィルターのカットオフ・ポイントが強調され、より明確なスウィープ・エフェクトになります。BPFモードでは、RESONANCEの値を上げるとフィルターの帯域幅を絞り、よりセンターポイントの上下の周波数をカットします。

R INV : R INVボタンは、ステレオ・オペレーション時に使用します。ボタンを押すとRチャンネルのLFOを反転させます。これはモノラル・イン/ステレオ・アウトで使用する際、モノラル入力の信号にステレオ効果を付加させるのに非常に有効です。

ボリューム

左上のVOLノブは、Mod Rexのマスター・ボリュームをコントロールします。マスター・ボリュームはプリセットへのセーブ / リコールが可能です。

セクションの接続順

4つのセクションが全て有効になっている場合、エフェクトはFILTER⇒MOD⇒TREM⇒PANの順に信号が送られます。

プリセット

Mod Rexは100プリセットの保存と呼び出しが可能です。電源と投入した際は最後に使用したプリセットがロードされます。

プリセットのロード

プリセットをロードするには、PRESET SELECT/STOREノブを回してください。ノブを回すとディスプレイに表示されたプリセットナンバーが点滅します。プリセットの選択を決定するには、PRESET SELECT/STOREノブを押してください。

プリセットをロードすると、全てのパラメーターは呼び出したプリセットのセーブデータに上書きされます。テンポ、サブディビジョン、LFOシェイプ、MOD/FILTERタイプ、R-INVといったパラメーターは新しい設定がデジタル・ディスプレイやLEDに表示されません。物理的にノブを操作する7つのパラメーター(VOL、各セクションの4つのDEPTHコントロール、FEEDBACK、RES)はプリセットをリコールすると、プリセットにセーブしていたノブの設定値にポジションに上書きされます。プリセットのロード後、7つのノブのいずれかを回すとノブが現在示しているポジションにジャンプします。

プリセットのロード後にパラメーターが変更された場合、変更されたことを示す為にディスプレイ右下にドットが点灯します。プリセットのロード後に加えられた変更は、変更後の設定で再度セーブを行わない限りプリセットをリロード（またはユニットの電源を切って入れ直す）しても保存されません。

プリセットのセーブ

現在の設定をプリセットにセーブするには、PRESETディスプレイモードに切り替え、セーブしたいプリセットナンバーに切り替えます。PRESET SELECT/STOREノブをディスプレイの左にある青いPRESET LEDが点滅し始めるまで長押しします。ノブを離すと、現在の設定をそのナンバーズロットにプリセットとしてセーブされます。

プリセットナンバーを回すと、現在ロードしているプリセットナンバーが呼び出されない限り、ディスプレイは点滅します。プリセットをセーブしている時に現在ロードしているプリセットを単純にアップデートするのであれば、PRESETモード時にPRESET LEDが点滅するまでPRESET SELECT/STOREノブを単純に長押しします。ノブを離すと現在の設定がプリセットにアップデートされます。パラメーターを変更し、ディスプレイ右端にドットが点灯している場合、プリセットをアップデートした後は消灯します。

PRESETディスプレイ・モードでPRESET SELECT / STOREノブを素早く押して離すと、そのプリセットナンバーがリロードされ、リロードの前に行った設定の変更は失われます。

ブランクプリセット

プリセットナンバーをスクロールすると、プリセットのナンバーの前にダッシュが表示されている場合があります。この表示はデータがストアされていないプリセットであることを示します。ブランク・プリセットをロードした場合は以下の設定に初期化されたプリセットがロードされます。

テンポ = 120BPM

各セクションのディヴィジョン = 0 (off)

各セクションのLFOシェイプ = Triangle

Mod Type = Vibrato

Filter Type = LPF

MOD/FILTERセクションの R-INV = Off

ノブ = 現在ノブが示しているポジションの値が反映されます。

各パラメーターを使用して新しいエフェクトを構築し、保存できます。ダッシュの表示によって新しく構築したプリセットをセーブする際に、すでにセーブされている別のプリセットを上書きしないよう簡単に判別できます。

LOCKボタン

TEMPOノブの下にLOCKと記載されているボタンがあり、LOCKボタンを押すとプリセットをロードした際にプリセットに設定されているテンポ設定はロードされず、現在のテンポ設定が維持されます。LOCKボタンを押さない場合は、プリセットをロードした際は、現在のテンポ設定はロードしたプリセットに設定されている店舗に上書きされます。このボタンは、テンポを一定に保ちながらプリセットを切り替えることができます。

プリセットのセーブ時、現在ロードしているプリセットを同じナンバーにセーブする場合(基本的に現在ロードしているプリセットのアップデート)、セーブされているテンポを現在アクティブになっているテンポで上書きせずにプリセットをセーブするにはLOCKボタンを押します。プリセットのテンポごとアップデートを行う場合には、LOCKボタンを押さずにセーブすることでプリセットのテンポは現在アクティブのテンポに上書きされます。異なるプリセットナンバーにセーブする場合はLOCKボタンのステータスに関わらず現在アクティブなテンポがセーブされます。

パラメーター値と実際のノブ設定

プリセットのリコール時、7つ全ての可変ノブ(VOL、4つのDEPTH、FEEDBACK、RES)のポジションは、プリセットの保存されたパラメーターに上書きされます。プリセットをロードした後に特定のノブを回すとパラメーター値は回したノブのポジションに変更されます。全ての可変ノブのパラメーターを現在ノブが物理的に示しているポジションにスナップしたい場合、ディスプレイ左の3つのLEDが点灯し、ディスプレイに4つのダッシュが表示されるまでTREM DIVISIONノブを長押しします。ノブを離すとパラメーター値は現在ノブが物理的に設定されているポジションの値に変化します。

ファクトリー・リセット

Mod Rexに搭載されている20のファクトリー・プリセットは上書き可能です。いつでも全てのプリセットを削除し、ファクトリープリセットをストアできるファクトリーリセットも可能です。ファクトリーリセットの方法は一度Mod Rexから電源を抜き、BYPASSスイッチとMOD DIVISIONノブを押しながら再度電源を投入します。ディスプレイには2つのダッシュが表示され、そのまま3～4秒程度長押ししているとディスプレイがDIVISION表示モードに切り替わり、ファクトリーリセットは完了です。

Note：ファクトリーリセットはすでにセーブされていたプリセットを全て削除します。ファクトリーリセット後のプリセットのリカバーは行えません。

スイッチとジャック

BYPASS

BYPASSフットスイッチはエフェクトのON/OFFを切り替えます。スイッチ左横の青LEDが点灯している場合はエフェクトがONです。Mod Rexはバッファード・バイパス仕様です。

TAP

TAPフットスイッチを使用して、モジュレーションのマスターテンポを設定できます。タップの間隔は4分音符です。スイッチ右横の青LEDは現在設定されているテンポの4分音符の間隔に併せて点滅します。

全てのLFOはタップ時にリセットされませんが、最も近い4分音符に同期/シフトされます。これは演奏中にタップできることを意味し、4分音符より大きいディビジョンやタップの間隔が不均等な4分音符を含む全てのモジュレーションは1回のタップでリセットされることなくタップテンポによるスムーズに調整可能です。

TAPスイッチを1秒以上長押しすることで、曲のスタートに同期させるようにLFOをハードリセットすることが可能です。スイッチを離すとLFOがハードリセットされます。

電源

Mod Rex に付属しているアダプターをペダルの上部に配置されているDCジャックに接続します。Mod Rex はセンターマイナス極性の9~10VDCの間で動作し、消費電流値は100mAです。バッテリーでの動作には対応していません。誤った電源を使用した場合はMod Rexの破損の原因になるほか、保証対象外となる場合があります。電源投入時、Mod Rexは最後に電源を切った際にセーブ、もしくはロードしていたプリセットをロードします。

インプットとアウトプット

インプットジャック

Mod Rex はMONO/L と Rと表記された2つのインプットを搭載しています。シンプルな使用方法としてはモノラル・オペレーション、もしくはモノラル・イン/ステレオ・アウトオペレーションがあり、楽器やその他の音源をMONO/L ジャックに接続します。フルステレオ・オペレーションの場合、Lインプット・シグナルはMONO/Lジャックへ、Rインプット・シグナルはRジャックへ接続します。MONO/Lジャックにのみ接続した場合は、Rジャックにも同様の信号が入力され、モノラル・イン/ステレオ・アウトオペレーションとなります。

アウトプットジャック

Mod Rex はインプット同様MONO/LとRと表記された2つのアウトプットを搭載しています。モノラル・オペレーション時はMONO/Lジャックからアンプやミキサー、インターフェース、またはMod Rexの後ろに配置した機材に接続します。ステレオ・オペレーション時はMONO/LからはMONO/Lインプットから入力された信号が、RジャックからはRインプットから入力された信号が出力されます。

エキスペッション・ペダル

EXPジャックはTRSケーブルを使用して一般的なパッシブタイプのエキスペッション・ペダルを接続可能です。このほかTRSプラグのTip端子から出力されるコントロール・ボルテージの入力に対応し、全てのelectro-harmonixエフェクトと同じTRSジャックのRing端子からリファレンス・ボルテージを出力します。

エキスペッション・ペダルはモジュレーションのレート(速さ)をコントロールします。Mod Rexは2つのエキスペッション・モードを搭載しており、FILTER DIVISIONノブをディスプレイ左の3つのLEDが全て点灯するまで長押しすると「E--1」、もしくは「E--2」と表示されます。FILTER DIVISIONノブを回すとエキスペッション・モードを選択できます。

E--1: エキスペッション・モード1はTEMPOノブやタップ/MIDIクロック/外部パルスクロックを使用してエキスペッション・ペダルをヒール(かかと側)に踏み込んだ時のマスターのモジュレーション・テンポを設定します。エキスペッション・ペダルをトゥ(つま先側)に踏み込むとスピードが上がります。

E--2: エキスペッション・モード2はTEMPOノブやタップ/MIDIクロック/外部パルスクロックを使用してエキスペッション・ペダルをトゥ(つま先側)に踏み込んだ時のマスターのモジュレーション・テンポを設定します。エキスペッション・ペダルをヒール(かかと側)に踏み込むとスピードが遅くなります。

外部クロックとフットコントローラー

CLK/FCジャックは少し異なる方法で使用できます。このジャックはelectro-harmonix Clock Worksのような外部パルスクロックの入力に対応しているほか、標準的なフットコントローラーを使用してプリセットのアップ/ダウンの切替が行えます。

このジャックを正確に動作させるために、使用に適したモードに設定する必要があります。MOD DIVISIONノブをディスプレイ左の3つのLEDが点灯するまで長押しし、“-FC-”もしくは“CLOC”のどちらかを表示させます。MOD DIVISIONノブを回すとモードを切り替えられます。

-FC-: このモードはCLK/FCジャックに接続したフットスイッチによるプリセットバンクのアップ/ダウンを行えます。TRSケーブルを使用し、Tip端子はプリセットを上昇させ、Ring端子はプリセットを下降させます。

CLOC: このモードは、CLK/FCジャックへのパルスクロック・シグナル、もしくは外部タップ・シグナルのどちらかに対応します。各クロックパルス(もしくはタップ)は4分音符の表拍に反応し、タップテンポと同様の動作をします。

これらの2つのモードを説明するために、標準的なフットコントローラーをCLK / FCジャックに接続することをイメージしてください。-FC-モードでは、TRSケーブルの先端に接続されているフットスイッチ(メーカーの仕様)がプリセットを切り替えます。CLOCモードに切り替えると、同じフットスイッチがタップ・テンポ・スイッチとして機能します。

MIDI

Mod Rex は筐体のトップにある標準的な5ピン MIDI INジャックからのMIDI入力に対応しています。MIDIを使用することで外部デバイスとのモジュレーション・レートの同期、プリセットの呼び出し、Mod Rexの様々なパラメーターのコントロールが行えます。Mod Rex はMIDIの出力機能は搭載していません。

MIDIによるテンポの同期

MIDIによるMod Rexと外部デバイスの同期を行うには、外部デバイスのMIDI OUTジャックとMod RexのMIDI INジャックをMIDIケーブルで接続します。接続する外部デバイスはMIDIリアルタイム・メッセージを送信できる機器を使用してください。デバイスが正しく接続されていれば、Mod Rex と正確に同期させるための追加作業はありません。Mod RexのMIDIチャンネルはMIDIリアルタイム・メッセージは影響しません。

Mod Rexが反応するMIDIクロック以外の唯一のMIDIリアルタイムコマンドは、MIDIスタート・メッセージとMIDIコンティニュー・メッセージです。いずれかのコマンドを受信すると全てのLFOはハードリセットされます。これは曲のスタートと拍の最初を揃える為に行います。

MIDI プログラムチェンジ/コントロールチェンジ メッセージ

Mod Rexは外部デバイスからのMIDIメッセージにより、プリセットの選択やパラメーターコントロールが可能です。これらのMIDIメッセージを正しく理解するには、Mod RexのMIDIチャンネルが外部デバイスから送信されるMIDIメッセージのMIDIチャンネルと一致する必要があります。

Mod RexのMIDIチャンネルの設定は、ディスプレイ左の3つのLED全てが点灯するまでPAN DIVISIONノブを長押しし、ディスプレイに1~16の数字が表示されます。PAN DIVISIONノブを回すとMIDIチャンネルを設定できます。

プログラムチェンジ・メッセージを送信するとプリセット1~100を呼び出す事が可能です。

Mod Rex の各パラメーターとコントロールチェンジ・メッセージのマッピング(割り当て)は次ページのチャートを参照してください。

MIDIコントロールのデータバリューは0~127です。Mod Rexの7つのパラメーターは本体ノブ、エクスプレッション・コントロール、可変範囲を0~127の段階に割り当てたMIDIメッセージでコントロールします。

データバリューによってオプションが切り替わる各モジュレーションのディビジョンや設
モジュレーション・シェイプ/タイプなどのパラメーターの場合、バリュー値「0」から順に各オプションへ割り当てられており、(0~9の除算の場合は、形状、0-3は4つの形状オプションを表します) 割り当てられた値以上のバリュー値を受信した場合には、各オプションのバリュー最大値が割り当てられているオプションに切り替わります。したがって、ディビジョンに割り当てられたMIDI CCナンバーのバリュー値「58」を送信すると、バリュー値「9」が割り当てられたオプションに切り替わります。

MIDI CC メッセージのアサイン

04	Expression*
07	Volume
18	MOD Type
19	FILTER Type
20	MOD Shape
21	TREM Shape
22	PAN Shape
23	FILTER Shape
24	MOR R-INV**
25	FILTER R-INV**
26	MOD Division
27	TREM Division
28	PAN Division
29	FILTER Divison
30	MOD Feedback
31	FILTER Resonance
92	TREM Depth
93	MOD Depth
94	PAN Depth
95	FILTER Depth

*MIDIによるエクスプレッションの入力は、Mod RexのEXPジャックに何も接続されていない時のみ機能します。

**MOD/FILTER R-INV機能はバリュー値が0の場合OFFとなり、1以上の場合はONになります。



ファクトリープリセット パラメーターリスト

※灰色のマスのパラメーターは該当プリセットの初期設定値ですが、プリセットのセッティング上、機能していない状態を示しています。

Preset	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
VOL	60%	65%	50%	55%	50%	65%	55%	55%	60%	60%
TEMPO	120	130	110	100	100	100	95	110	130	96
MOD. DIV.	1	1	7	7	1	2	7	2	9	1
MOD Type	PHS	FLN	VIB	PHS	PHS	PHS	VIB	CHR	VIB	PHS
MOD Shape	TRI	FALL	TRI	SQR	TRI	FALL	TRI	TRI	TRI	FALL
MOD Depth	85%	70%	20%	50%	80%	100%	25%	30%	20%	100%
Feed.	60%	65%	50%	10%	60%	60%	50%	50%	50%	50%
MOD R-INV	Off	Off	On	Off	On	Off	Off	On	Off	Off
TREM Div.	9	4	4	0	0	5	6	7	5	4
TREM Shape	SQR	RISE	TRI	TRI	TRI	TRI	TRI	TRI	FALL	RISE
TREM Depth	90%	70%	50%	50%	50%	100%	50%	50%	100%	100%
PAN Div.	1	0	0	2	4	0	0	3	0	0
PAN Shape	TRI	TRI	TRI	SQR	TRI	TRI	TRI	TRI	TRI	TRI
PAN Depth	50%	50%	50%	60%	100%	50%	50%	50%	50%	50%
FILTER Div.	0	8	0	1	7	2	1	0	4	0
FILTER Type	LPF	LPF	LPF	LPF	LPF	HPF	BPF	LPF	LPF	LPF
FILTER Shape	TRI	TRI	TRI	TRI	FALL	RISE	TRI	TRI	FALL	TRI
FILTER Depth	50%	40%	50%	100%	100%	50%	50%	50%	100%	50%
Res.	50%	55%	50%	40%	55%	60%	0%	50%	60%	50%
FILTER R-INV	Off	Off	Off	On	Off	Off	On	Off	Off	Off

Preset	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
VOL	52%	60%	60%	55%	60%	60%	66%	55%	70%	65%
TEMPO	100	120	105	94	120	40	120	122	120	120
MOD. DIV.	2	4	4	1	7	1	6	9	3	1
MOD Type	PHS	CHR	FLN	FLN	VIB	FLN	VIB	PHS	CHR	VIB
MOD Shape	TRI	TRI	SQR	TRI	TRI	TRI	TRI	TRI	SQR	TRI
MOD Depth	80%	20%	50%	45%	25%	15%	15%	60%	35%	50%
Feed.	55%	50	25%	60%	50%	65%	50%	25%	50%	50%
MOD R-INV	On	Off	Off	Off	On	Off	Off	Off	Off	Preset
TREM Div.	9	7	9	3	4	0	4	4	9	7
TREM Shape	TRI	FALL	FALL	TRI	RISE	TRI	TRI	TRI	FALL	FALL
TREM Depth	85%	80%	50%	100%	75%	50%	50%	50%	100%	70%
PAN Div.	0	0	4	7	2	2	1	0	1	0
PAN Shape	TRI	TRI	TRI	TRI	SQR	TRI	TRI	TRI	TRI	TRI
PAN Depth	50%	50%	70%	100%	55%	75%	25%	50%	60%	50%
FILTER Div.	6	2	9	4	1	1	4	3	6	4
FILTER Type	BPF	HPF	LPF	LPF	LPF	HPF	HPF	HPF	LPF	HPF
FILTER Shape	TRI	RISE	FALL	TRI	RISE	TRI	TRI	RISE	FALL	FALL
FILTER Depth	40%	25%	100%	100%	100%	15%	10%	20%	40%	50%
Res.	30%	75%	50%	25%	70%	25%	10%	50%	50%	50%
FILTER R-INV	Off	Off	Off	Off	Off	On	Off	Off	Off	Off

MEMO





——— 正規輸入代理店 ———

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒468-0002

愛知県名古屋市中白区焼山 1 丁目 813 番地

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp